

和6年度 第3回若葉区支えあいのまち推進協議会講演会 開催報告

1 日時 令和7年2月20日（木）13時30分～16時00分

2 会場 植草学園大学 さくらホール

3 当日の出席者数 87名

団体名等	参加人数	（参加者の応募方法）
推進協委員	18名	
社協地区部会	12名	各社協地区部会あてに依頼
民生委員	16名	各民児協地区会あてに依頼
自治会	9名	各連協会長あてに依頼
行政・市社協	9名	市職員庁内掲示板に募集掲載 市社協連絡会等で応募の声掛け
学生	0名	植草学園大学・東京情報大学・千葉大学に パンフレットの配架を依頼
一般	10名	千葉市役所ホームページに掲載
事務局	13名	

4 講演内容 ※別添パンフレット参照

（1）開会・委員長あいさつ

（2）第一部・基調講演 「地域コミュニティの再生に何が必要か」
千葉大学大学院社会科学研究院教授 関谷昇教授

（3）第二部・事例紹介

・「ほぼ毎月駄菓子屋」 千田理子氏

・「グリーンスロモビリティーさくらまる」 東田日出夫氏

（4）質疑応答

（5）植草学園大学からのお知らせ・閉会

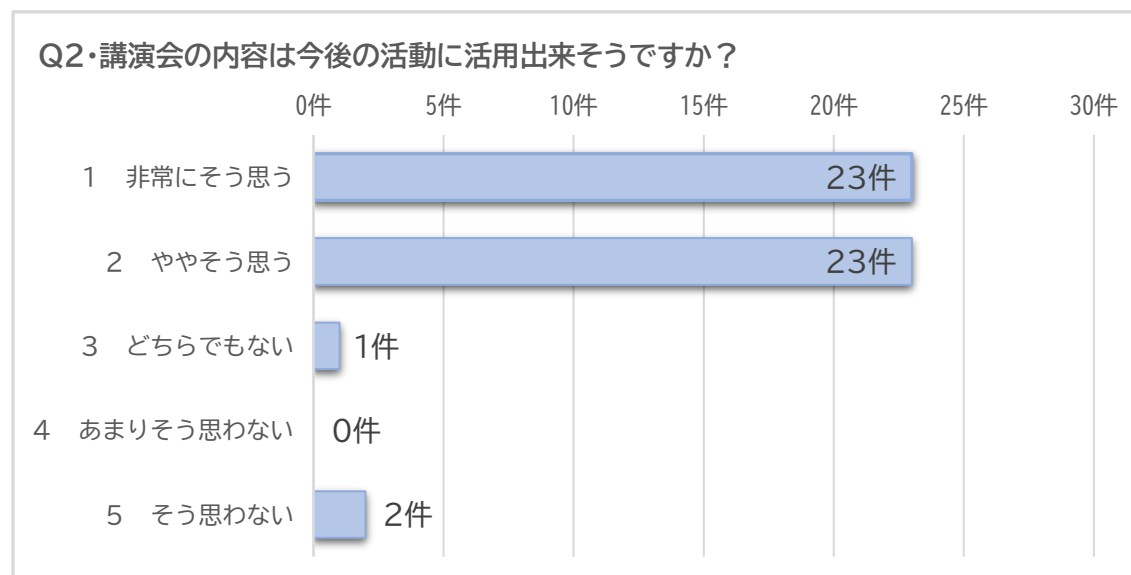
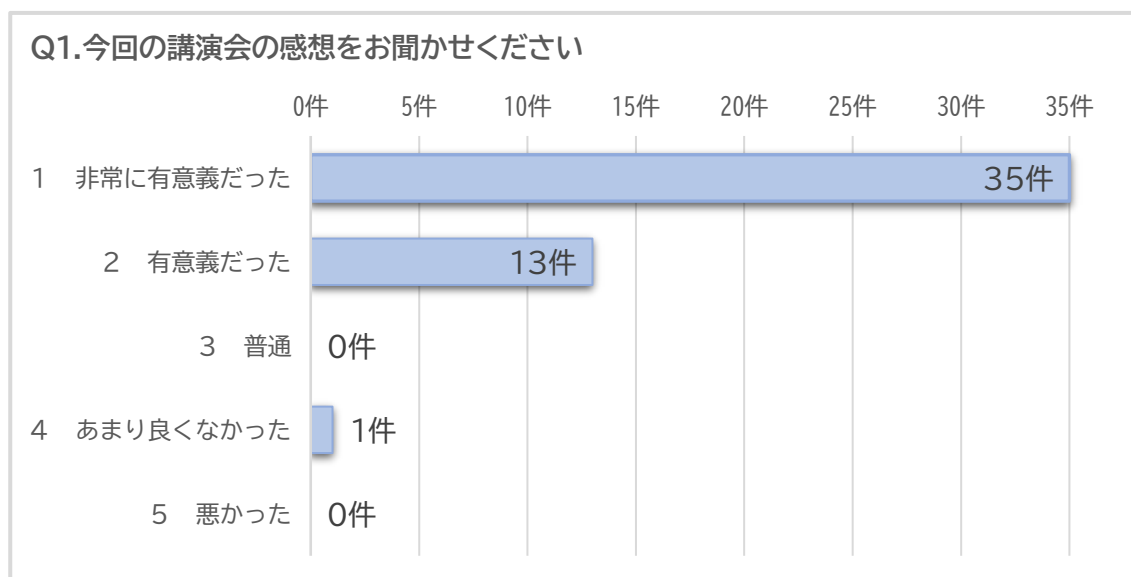
5 アンケート結果 ※別添アンケート用紙参照

アンケート回答者数－４９名

※内訳 オンラインによる回答・・・２２名

回答用紙提出による回答・・・２６名

≪集計結果≫ ※回答者数４９名



《感想・意見》

※個々の感想・意見はP 5～P 11の別紙「個別の感想・意見一覧」を参照

○感想・意見のまとめ

質問1 感想について

【良い意見】

1 地域の理解とつながりの重要性

講演を通じて地域の状況や「つながり」の大切さを再認識し、地域活動に対する意欲が高まった。

2 実践的な学びと共感

関谷先生の講演や事例紹介は非常に有益で、特に「できる人ができるときにできることをする」という考えに共感を得た。

3 目標が明確になったこと

活動に対して明確な目標を持つことができ、今後の方向性がクリアになった。

【悪い意見】

1 既存の枠を超える難しさ

既存の枠に合わせて生きてきた自分がその枠組みを取り外し、新組織を作ることはハードルが高い。

2 具体的な提案の不足

講演で例示したから後は考えろという点に関しては、若葉区の地域に即した具体的な提案が欲しかった。

質問2 今後の活動に活用できるか

1 地域との関わりの重要性

地域資源マップなどを活用して地域の課題や強みを理解し、日々の接触を通じて実践的な活動を進めたい。

2 協力とつながり

縦割りの活動から、テーマ活動で異なる委員会や世代を横のつながりで結びつけることが重要。単独よりも関連する委員会が合同で開催する機会が増えてきたので引き続き進めて行きたい。

3 リーダーシップと目的の設定

地域活動が長期的に続くためには明確な目的設定とリーダーシップが必要。地域のニーズに応じた実践的な行動が求められている。

質問3 印象に残ったこと

1 つながりの重要性

地域活動で「横のつながり」が大切であり、世代や部門を超えて協力が重要。

2 地域課題と解決法

地域課題を見える化やできないことを伝達し合うことが必要。事例として発表された「ほぼ毎月駄菓子屋」や「グリーンスローモビリティ」については評価された。

3 コミュニティ作り

強制ではなく、参加者が楽しんで活動できる環境を作りや、自由に参加できる仕組みを推進することが必要。

4 今後、受講したい講演内容

1 地域活動の事例とフォローアップ

事例のその後の展開や成果、問題点を深掘りし、具体的な取り組みの紹介

2 地域貢献活動や企業の関与

企業としての地域貢献活動や成功事例

3 自治会や地域コミュニティの運営方法

高齢者ばかりの自治会の運営方法。外部との連携方法を具体例とともに紹介して欲しい。

自治会や地域コミュニティの今後のあり方を考える。

4 女性役員や防災役員の役割の変化

女性や防災役員の立ち位置が変わりつつある中での成功事例や課題を共有

5 福祉活動と市民活動の広がり

福祉活動が市民活動に広がらない理由とその解決方法を探る。

5 その他

講演会では、外に繋がる運動や、つながりが強調され、参加者は内容について評価された一方、時間の関係もあり質問時間の不足や参加者数の少なさを惜しんでいました。会場の設備や駐車場の完備については好評でした。全体的に、有意義な学びの場として感謝の意が多く表され、参加者が共に考える良い機会となったと思います。

※【参照】講演会終了後の関谷先生からのコメント

「地域コミュニティは正解があるわけでも決まった形があるわけでもないので、現場に即して、あるべき活動を模索し続けられる知恵と技術が必要なのだと思います。ぜひ、今後は考えを出し合って、練りあって、一つでも自分たちなりの活動を増やしていただけたらと願っております。

研修としては、ワークショップで考えを持ち寄り、どんなことが可能か議論しあってみると、もっと実感が湧くと思われます。何かあれば、またお声がけください。」

※ 別紙 「個別の感想・意見一覧」

1 今回の感想

- ・既存の組織・考え方では対応していけないとわかり有意義だったが、自分自身が既存の枠に自分を合わせて生きてきた訳で、その自分が枠組みを取払って新たな組織をつくり、皆を巻き込んでいこうとするのは中々ハードル高く大変な気がした。
- ・現在の地域の状況と歴史的背景を取り入れて理解することができた。
- ・関谷先生の講演、お二人の事例紹介とも、とても勉強になりました。いつも担い手をどうするかが課題となりますが、お二人のような積極性や考えが大切だと思いました。
- ・やりたい人がやりたい時にやりたい事をやる、大事だと思いました。
- ・例示したから、後は考えろという基調講演だった。地元大の教授なら、若葉区を研究し、具体的な再生提案をして欲しい。後半の事例紹介は有意義だった。
- ・自治会活動に限界を感じており、出来る事を出来る人が出来る時にやるという言葉に共感をえました。
- ・「つながり」を常にイメージしておきたい、と思いました。
- ・後継者については、どの地域でも課題になっている。時代と世代の変化と、地域どの関わり方の変化を感じながら、日々の感覚が裏付けされる話で参考になった。
- ・お話は大変聞きやすく良かったのですが、資料とお話がいまいちリンクしていなかったように思います。キーワードと思えるような言葉(講演の中)が全く書いていない・・・できればあとで資料をみたとき話しの内容が思い出させるようなものとありがたいです。
- ・実践している例、そして社会背景の講義をマッチングさせながら聞くことができました。
- ・枠(現職)を超えて繋がるような可能性を感じることができた。
- ・各講演とも今必要とされる「つながり」について教えていただきました。地域みんなで元気になれるような活動をしたいと思いました。
- ・地域コミュニティについての認識、自主参加を再認識した。
- ・関谷先生の内容はなんとなくやってきたことに対し、目標がクリアになり、力をいただきました。頑張ります。
- ・夏休みの活用は参考になった。
- ・さくらまるの運営は大変だが多くの団体を良く活用している。
- ・「死」を家族のものとして囲い込むのではなく、信頼できる仲間と一緒に考えるということに取り組んでいきたい。
- ・関谷先生がよく整理されている話は分かりやすく内容も豊かでとても良かったです。
- ・地域活動にあたり前の様に参加してきましたが、今日の関谷先生の講演を聞きまして固定観念で携わっている次第でした。
- ・コミュニティの大切さ
- ・理想論としては考え方が一致した。
- ・関谷先生のつながりの再生というテーマが印象的でした。

- ・昨年、色々な理由でお祭りができなかったのですが、世代の繋がりをもって考えて実行したいと思いました。
- ・いつも気にしていた件なので参考になりました。
- ・縦割りを超える大切さを考えさせられました。

2 今後の活動に活用できるか

- ・日頃から自分が地域の人々と接触して肌感覚で気持ちをわかっているのと、有効な入口を作れないかも。
- ・これまでの自分の考え方や方向性で間違えないと感じました。これからも目的がぶれないよう、地域の人と関わってけたらと思います。
- ・基調講演では社会基盤の変化、地域コミュニティの諸課題等大変良くまとめられており、地域コミュニティ再生のヒントが解説されているが、うまく再生した自治会等が行ってきた具体的施策例などが紹介されているとさらに良かったと思う。
- ・改めて、地域資源マップなど活用して、地域の課題や強みを確認したいと思いました。
- ・後、10年早く聴きたかったです！もう、今から行動に移すのは厳しいなあと感じました。
- ・繋がりや広がりについて。白井地区部会では、縦割りの委員会活動をしてきたが、テーマ毎の活動で、単独よりも関連する委員会が合同で開催する機会が増えてきた。例えば、見守り、サロン活動、防犯活動などは、ボランティア委員会とネットワーク委員会が合同で実施した。委員会の人材不足対策にもなる
- ・私は自治会長ですが、当自治会には世代間のギャップは全くない。高齢者ばかりだから。教授の、コミュニティが幅広い世代からなるとの前提の話では、活用しようがない
- ・全てが縦割りになっている事に気づかされ横に繋げていく事の重要性を勉強しました。
- ・千田さんの事例発表で、いろいろな人がいろいろな場所で居場所を作っていけばいいとの言葉に勇気づけられた。
- ・今年度、自治会の副会長をしまして1年間たくさんの問題に直面してきましたが、なかなか活動に移すことなく終わりそうです。来年度は自治会の一員として協力していけたらと思っています。
- ・コミュニティの在り方について貴重なアドバイスを頂いた、と言う思いです。
- ・地域での活動を具体的に考えてみようと思う。
- ・できることはやるのがこれからの地域活動
- ・即実践したいことが山盛りだった。「意見・話を聞いてくれる場所と人をつくる必要」を痛感した。
- ・地域の目的・目標がしっかりしているところは長く続くということを伺ったので目的をはっきりさせることから始めようと考えています。
- ・地域住民同士のコミュニティの中で自分に何ができるかを探すこと自体を楽しみにしていくようにしていきたい。
- ・いかに活動に活用していくか難しい。
- ・夏休みの子供対象はできると思うし、地域の若い人(親)の助けになると思います。
- ・異世代交流とそれぞれの世代のニーズ把握。デビューの場づくり。地域的資源の発掘と見える化
- ・具体的に活用できる方法は浮かばないが現在取り組んでいることの精神的な支えになります。

- ・横のつながりを検討することが大事ということが良く分かりました。
- ・何か些細なきっかけが必要である。
- ・視点が変わったような気がする。
- ・ソーシャルキャピタルという言葉、信頼できる社会づくりが大切だと思いました。
- ・地域ぐるみの支え合いは現在実行される地域があるとのことで自分たちの団地でも検討したいと思いました。R7年度の理事（町内の役員）に聞かせたい内容でした。
- ・やはりリーダーは必要、そのリーダーが育っていないのではと思いました。それでも良い講義でした。
- ・コミュニティの大切さ

3 印象に残ったこと

- ・つながりの構築
- ・全体的に、講義も事例も、たいへん有意義な内容でした。
- ・事例が身近なものでどうやってつながったか、とても参考になった
- ・地域課題の見える化は、まずは自分達が直ちになすべきことと感じた。
- ・「つながり」です。
- ・関谷先生が仰った「キーワードは“つなぐ”」「社会モデルの転換期」が印象に残りました。ちょうど開会前に仲間との雑談で、国立市には町内自治会が無いという話題が上がりました。枠組みに人員をはめ込むこれまでのやり方は今のライフスタイルには合わない点が多いです。
- ・今の自分の立場の外側に目を向ける事が大切
- ・全ての話が、ネットとか、SNS 絡みだったことが今の時代だなあと印象に残った！
- ・異世代間で対応できるプラットフォームを作ること（縦割りを超える）難しい事ですが、時の流れをしっかり受け止めて！
- ・さくらまるの活動をしている人達の存在が、素晴らしいと思いました。教授の学問話ではなく、実際に活動している人達の話は、参考になるし、元気を貰えました。
- ・上下関係ではなく横の繋がり
- ・高齢者も生き甲斐を感じてドライバーとして活躍しているグリーンスローモビリティの取り組みが素晴らしいと思いました。
- ・事例発表に対する関谷教授のまとめの言葉が適確で、良く頭に残りました。
- ・つながることが大事であること。地域の活動団体も縦割りの現実であること
- ・つなぐ...
- ・地域コミュニティの再生に何が必要か、の講演が印象に残りました。非常に具体的でポイントを突いていたと思います。
- ・洗い出しをして、横の繋がりを大事にする。マルシェを開催していく中で、枠にとらわれずに繋がりを大切にしたい。
- ・基調講演が印象に残ったのは当然なのですが、千田さんの活動が自分たちの活動に振り替えて考えることができ、有意義な時間でした。
- ・駄菓子屋の活動と発表の伝え方がよかったです。

- ・若い世代の地域との関わり合いについて。地域に関心がないのではなく関心をもつ情報をもっていない。「人口を増やすべき」がとても印象的でした。高齢になってから知的で暮らすために若いうちから地域で関心をもって欲しいと思っていたので、地域への人口を増やす方法を見つけていきたいです。
- ・たくさんありました。事例だけでなく、基本的な考え方を教えていただき良かったです。
- ・10年間の助走つぶやきから SNS つぶやきで賛同者 30 人オーバーの毎日(毎月)駄菓子屋を発表した女性の生き生きさが好印象
- ・活動中もタテではなく横の動きが大切ということ
- ・自分立場の外側にも目を向ける・・枠の中だけで解決することばかりを考えていました。異世代、他団体との連携
- ・強制で行うのではなく、参加される方々が皆様全て楽しめるように活動をしていきたい。
- ・横のつながりが大事
- ・地域づくりとしてチームによるローラー作戦を取り入れたい、やってみたいことをやって見たい人にやってもらう。両方ともボランティアの組織化(自由に出入り)を推進中です。
- ・囲い込み社会ではなく越境する社会
- ・駄菓子屋のすばらしさ。大変感動しました。
- ・基調講演としては①地域コミュニティ。重要性和理論展開。問題点と明確にされている。②やや学問的の感が否めない。問題点を考えさせる論点があってもよい。③説明時間不足。
- ・千田さんの話はまさに地域課題解決の実践例で興味深かった。
- ・全体
- ・お互いを知る。というのが良かった。
- ・横のつながりが大事。壮年・青年の交流の大切さ
- ・横のつながり(部門横断)。響きあい。
- ・地域の横のつながりを大切に。世代間のコミュニケーションを取ろう。
- ・ほぼ毎月駄菓子屋は目的がしっかりしていて SNS 発信がとても上手だと思います。さくらまるは自分も桜木町に住んでいましたが、確かに桜木小学校に、1,200 人の生徒がいて若い世代、力を、協力を上手にしていると思います。
- ・さくらまる・・無料とはすごい。とてもためになる講演会でした。ありがとうございました。関谷先生のお話のように何とか実行出来たらと思いますが、地域の役目も R 6 年度で終わりですのでどのような提案そして実行できるか。ちょっと難しいですが、とてもためになりました。
- ・できないことをお互いに伝達し合いませんか、＝つながりづくり、連携のポイント
- ・大学の先生が学生たちの指導をして下さるのでこれからの未来は明るく、先生のおっしゃるようになればいいなと希望します。
- ・できていない事を話し合う大切さ。信頼できる社会づくり
- ・地域で皆がコミュニティを取りながら大切に取り組みたいと思います。
- ・役員をお願いするということより、やりたい人をどのように取り入れていくか(例:ボランティア等)

4 今後、受講したい講演内容

- ・事例のフォローアップ。その後どうなったか

・関谷先生のお話しは分かりやすかったです。情熱も感じました。また新しい、地域の人の活動事例が聞けたらいいと思いました。

- ・企業としての地域貢献活動について
- ・社協地区部会としてお薦めの事業紹介
- ・事例とかをもっと詳しく時間をかけて聴いてみたかった。質問も沢山したかった。
- ・地域活動への考え方、事例等の講座は繰り返してやってほしい。今回聞けなかった人を含め受講者はたくさんいると思う。
- ・老人ばかりの自治会の運営方法。具体的に、外部にどう働きかけたら良いのか、上手くいった例など教えて欲しい。
- ・今後の自治会のあり方など
- ・地域コミュニティについて、を聞きたいと思います。
- ・ようやく自治会の女性役員や防災役員の立ち位置が変わりつつある中、まだまだ、まだまだ高齢男性が大きな壁になっています。成功例・事例紹介を知りたいです。
- ・社協の活動について
- ・支え合いのまちを目指すにあたり一度若葉区の税金の使い方を分解してみたい。
- ・福祉活動は何故市民活動に広がらないのか
- ・行政、地域、高齢者をつなぐ仕組みが必要である。小職が担いたいと考えます。
- ・関谷先生の講演
- ・海外の方への対応について（周囲は海外の方が増えてきました。ゴミ捨ての問題（言葉が分からないので、教えてあげられない）、分別等）

5 その他の感想等

・まずは、ひとりひとつ 外と繋がろう運動を展開したら良いと思った。どこの組織でも何でも構わない。そうしたら、そこからの情報を得られるし、災害の時でもそこの方々から気にかけてもらえるぞ。

・とても良い講演会でしたが、参加者が少なかったことが残念に思います。会場のトイレなどの設備が不安と思うところはありませんでしたが、若葉区内において植草学園の場所と駐車場などの完備は最適だと思います。

・とても内容が充実した後援会でした。関谷先生の熱意を感じました。ありがとうございました。

・人材確保について、具体的にもう少し突っ込んで欲しかった。昨今では、70 歳まで働くとなり地域活動に携わる年頃の人がボランティアに入り難い状況。民生委員の定年延長（80 歳近く迄）も良いが、進んで福祉活動に携わる人を増やす仕組みを考えて欲しい。

地域で考えるテーマでもあるが💡

・駄菓子屋で子供達に居場所を提供する良い活動をされている方が、居場所という言葉は好きでないと言われた。居場所を求める私にはつらかった。子供達に居場所を提供していると誇りを持って言えば良いと思いました。

・とても有意義な講演会でした。ありがとうございました。

・貴重な意見・事例を知ることができました。運営に関わっていただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。

ます。お疲れ様でした。

・多様な時代で、地域の中でビジョンを同じに考え、行動する事は大変なことに感じますが、担い手、協力者が少しずつ参加し組み立て、より良い繋がりを出来る限りの実践をして参りたいと思います。

・植草学園大学が会場ということがよかったです。

・会場も車を止めることができる場所でよかったです。

・各事例について講演の質問時間がなかったのが残念です。質問時間がありましたがあまりにも時間が少ないと思った。

・ハードル低くみんな楽しく使えるものはどんどん使う、責任をおしつけない。できる範囲で。みんなが大事だと分かりました。 つなぐ

・良い講演をきかせていただきありがとうございます...

・関谷先生の市民福祉の展望について、地域コミュニティは誰が誰のため、何のための視点から横たわる問題点と解決の方向性について定義いただき参加者が共に考える場となればと思われた。

・質疑の時間はたっぷりとして欲しい。地域交流という意味で他の人がどんなことに興味をもち、どのような質問するのか。聞きたい。結果的に地域交流になるのでは。

・大学の先生のお話はとてもためになりました。千田様、東田様の発表も分かりやすく参考になりました。ありがとうございました。民生委員として参加しました。民生委員も後任が見つけられずに困っている仲間がたくさんいます。お互いを知るというのが参考になればいいなと思いました。植草学園大学さんはホームヘルパー2級を1か月で取れると通ったところでした。きれいな会場で駐車場も使えてありがたいと思いました。看護学部というののもたのしい情報でした。

・行政から縦割りを是正していく意識をもたなければ無用の長物となってしまう、ボランティアのみに期待するのではなく、予算措置も必要であると感じる。その上で個々の人格が目覚める。要するに意識の覚醒が始まると思います。本日の先生の考えはこの時点で現実化するのではないのでしょうか。小職も基本的な考え方で先生と同じくするところが多分にあります。本日は大変勉強になりました。また拝聴させていただければと存じます。ありがとうございました。

・今日は大変参考になりました。関係者の方々ありがとうございました。

・地域活動にご尽力されている方がいて感動しました。子育て世代にはありがたいですね。